長崎県立長崎図書館郷土課の歩き方

長崎県立長崎図書館郷土課はいま、「なるたき図書館」（県立鳴滝高等学校の学校図書館）でカウンター業務を行っています。
ですが、郷土課の蔵書は、以前、県立長崎図書館があった場所（長崎市立山1-1-51）の書庫にそのまま保管されています。

そのキョリ1.3km

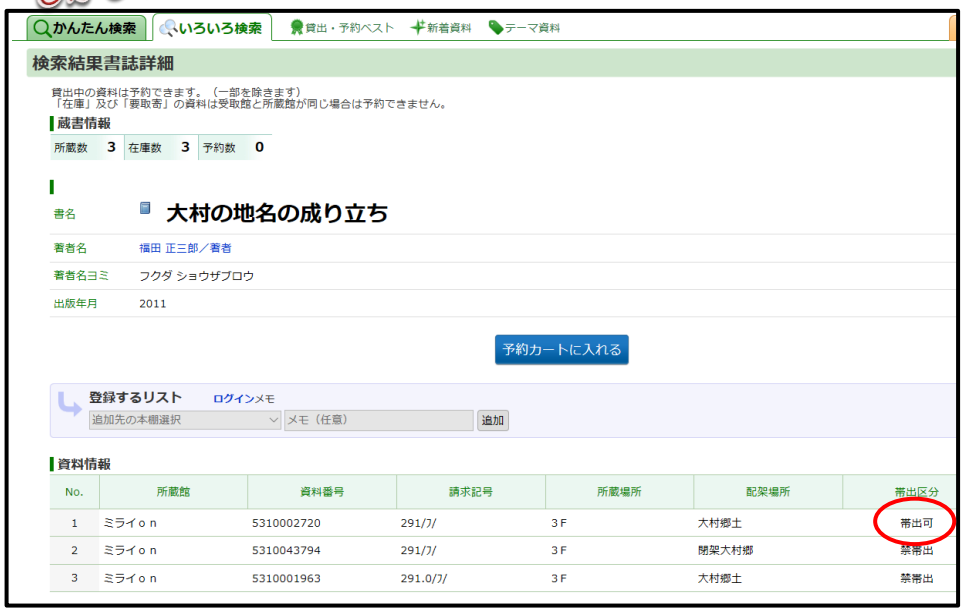
ですので、「来館」即「貸出・閲覧」とはいかず、利用者の皆様にご迷惑をおかけしています。

そこで！！

来館前に、必要な資料がどこにあるかチェック！！
たとえば、大村の地名について調べたいと思ったとき、ミライｏｎ図書館ＨＰの蔵書検索で、「大村」や「地名」などのキーワードを使って検索すると・・・『大村の地名の成り立ち』という資料があったりします。

残念なことに、この資料は、借りることができません。しかも、郷土課の本ですのですぐに見ることができません。

しかし！！　もう一歩踏み込んで、書名で検索してみます。すると・・・



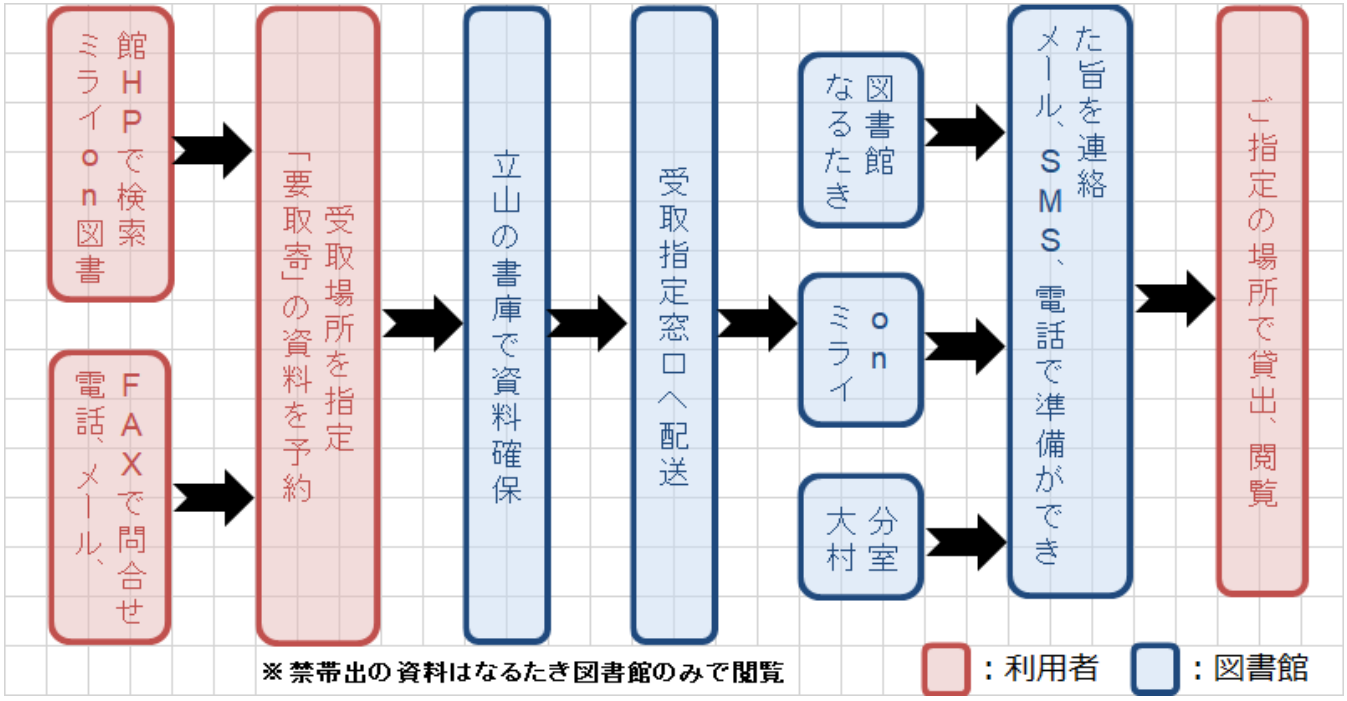
なんと！！　ミライｏｎ図書館に、貸出可能な資料がありました！！

この検索システムには、長崎県立長崎図書館の一般資料と郷土課の資料、そして、大村市立図書館の資料のデータが蓄積されていますが、各課・各館の利用目的によってデータが異なることがあります。一度の検索で、お眼鏡にかなう資料に行き当たることが難しいかもしれません。

利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、職員へご相談いただくなどあらゆるヒントを得ながら、必要とする資料を提供していきたいと考えています。

お話を戻して、

旧県立長崎図書館所在地（立山）の書庫にある資料の貸出・閲覧までの流れ



皆様のご利用を、お待ちしています。

R2.7